

かながわ「福島応援」プロジェクト 活動紹介



団体名	かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)
団体種別	任意団体(法人格なし)
代表	渡辺 孝彦
設立年月日	2012年1月11日
登録メンバー	正会員、一般会員、賛助会員ほか計306人(2024年4月末現在)

私たちについて

かながわ「福島応援」プロジェクト(kfop)は、2011年3月11日に発生した東日本大震災とそれに続く東京電力福島第一原発事故により大きな被害を受けた福島県内でのボランティア活動と、神奈川県内に避難されている方へのお手伝い、情報発信の3つを柱として、「神奈川から福島を応援する」ために活動を続けています。

kfopのメンバーはそれぞれ個人の意思で集まり、ボランティアとして活動しています。スタッフ、参加者ともに無理をせず、できることを、できるときに、できる範囲で活動することを前提としています。

福島の方々は、直接的な被害のほか、風評被害、観光の打撃など、大きな苦難の中にあります。復旧・復興が進むためには、まだまだ皆様のご支援が必要です。

活動方針

私たちは、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故によりいまだ大きな苦難の中にある福島を長期にわたって応援し続けるために、持続可能な事業計画と予算計画を立てて団体としての活動を維持します。

いずれの活動についても、当事者の方々が必要とする支援や環境は時間とともに変化します。

特に相双地域では避難区域の解除が進み、様々な課題が発生してくると見られます。そうした変化を理解し、柔軟に対応できる体制、予算的な余裕、他団体とのつながりも必要です。

その一貫として、現地の状況を把握するための情報収集、現地の行政や民間団体とのつながりの維持を目的とした現地訪問や会議への参加も積極的に行います。

同時に、神奈川をベースとしながら長期的に現地に関わっていきける連携先も模索していきます。

活動内容

●現地活動

福島県から避難される方、避難されている方、福島県に住む方へ、できることのお手伝いを現地で直接行う。他団体へ参加、連携を含めて福島復興、元気につながる活動を行う。

- ◇ 現地のボランティアセンター等を通じて復旧復興に向けて一緒に汗をかく。
- ◇ 現地開催の交流事業に参加して一緒に楽しみ、心のつながりを育む。

●連携活動

神奈川県および近郊に避難されている方のお手伝いや、交流会の運営協力を行う。また、被災地の自治体や団体、神奈川県内の自治体や団体とのつなぎ手として支える活動を行う。

●視察研修

福島県内の地域を訪問し視察研修を行い、福島の当時・今・これからを伝えていく。

- ◇ 現地との信頼関係を醸成したうえで計画、遂行する。
- ◇ 視察研修の参加者報告をまとめて報告書とし、情報発信に活用する(伝える)。

●情報発信

「現地活動」、「視察研修」、「講演会」、「勉強会」、「美味しいふくしま」などを通して、福島県でのボランティア募集、観光情報、温泉情報、特産品情報など、福島の元気と笑顔につながる情報を発信する。

●災害復旧支援

地域を固定せず、台風や豪雨等の自然災害による甚大被害が発生した際には、現地の要請に基づきその復旧支援等を行う。

主な活動実績

●現地活動(福島県内での活動)

バス便、広域便を原則として月 1 回、2011 年度～2023 年度まで 189 回運行、のべ 1,783 人が参加。

福島市、南相馬市、会津若松市(大熊町の避難先)、田村市、双葉郡 8 町村(広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村)など

●連携活動

- ◇ 避難者を対象とする交流会等の運営協力
- ◇ 「ふるさとコミュニティ in かながわ」の共催(2012 年第 1 回～2016 年第 8 回)
- ◇ 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)主催 広域避難者支援ネットワーク会議への出席
- ◇ 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)主催 現地会議、現地ツアーへの参加
- ◇ 双葉郡未来会議への参加
- ◇ ふたば地域サポートセンターとの連携
- ◇ みつばち倶楽部カンファレンス講演

●情報発信

- ◇ 2016 年 講演会「南相馬の今 わたしたちにできること」
- ◇ 2016 年 講演会「避難指示解除後の楡葉町から語り部をお迎えして」
- ◇ 2017 年 講演会「地域ではぐくむ創造の芽吹き」
- ◇ 2018 年 講演会「ふくしまの農と人とつながる講演会」
- ◇ 2019 年 講演会「地域をもっと良くするために！アクションを起こして可能性の種をまく」
- ◇ 2020 年 講演会「今あらためて福島から学び次世代に伝えるために」
- ◇ 2021 年 講演会「地域とともにある酒造り」(オンライン参加者 51 人/会場参加者 8 人)
- ◇ 2022 年 講演会「双葉町～つたえる・つなぐ～」
- ◇ 2023 年 講演会「ふるさとのつくり方」
- ◇ 勉強会/2017 年～2023 年 計 7 回
- ◇ 市民活動フェア出展/2016 年～2023 年

●視察研修

2015 年 4 月 富岡町、2015 年 10 月 大熊町
2016 年 5 月 双葉町、2016 年 10 月 浪江町
2017 年 10 月 葛尾村・川内村
2019 年 2 月 相馬市・新地町
2019 年 11 月 富岡町・大熊町・楡葉町

2021 年 11 月 双葉町、12 月 浪江町・南相馬小高区
2022 年 11 月 イチエフ/富岡町・大熊町・双葉町
2023 年 11 月 飯舘村/浪江町(津島地区など)

●災害復旧支援

- ◇ 2013 年 7～8 月 静岡県西伊豆町の水害における復旧支援ボランティアバス運行
- ◇ 2015 年 9 月 栃木県鹿沼市の水害における復旧支援ボランティアバスを他団体と共同運営
- ◇ 2015 年 10～11 月 茨城県常総市の水害における復旧支援ボランティアバスを他団体と共同運営
- ◇ 2018 年 8 月 岡山県倉敷市の水害における復旧支援ボランティアバスに運営協力
- ◇ 2019 年 10 月 台風 19 号による水害の復旧支援/南相馬市、本宮市、いわき市/土嚢袋寄贈
- ◇ 2022 年 3～6 月 3/16 発生福島県沖地震による被災民家の片づけ支援/南相馬市鹿島区、相馬市/寄付
- ◇ 2023 年 9 月の令和 5 年 台風 13 号の被災地支援/いわき市へボランティア活動

活動へのご支援について

私たちの活動は、福島を応援する多くの皆様のお力添えで進めることができています。

参加者の皆様からは会費とご寄付を頂戴しています。また、活動にご賛同いただける個人、団体の皆様からご寄付を頂戴しています。ご寄付、会計報告についてはホームページで公開しています。

●寄付・助成金を頂いた主な団体(主に寄付)

- ◇ azbil みつばち倶楽部様(2014～2022 年度)
- ◇ 富士フィルムビジネスイノベーション 端数倶楽部様(2021～2023 年度)
- ◇ 富士ゼロックス株式会社 端数倶楽部様(2015～2018 年度)
- ◇ 一般社団法人 東北支援会+プラス様(2018 年度)
- ◇ シティアクセス株式会社様(2016 年度)
- ◇ 赤い羽根助成金(2015 年 第 15 次、第 16 次)
- ◇ 富士ゼロックス神奈川株式会社 端数倶楽部様(2013 年度)
- ◇ リコー社会貢献クラブ・FreeWill 様(2013 年度)
- ◇ 一般財団法人 神奈川県建築安全協会様(2012～2014 年度)

かながわ「福島応援」プロジェクト (kfop)
電子メール info.kfop@gmail.com
ホームページ http://kfop.jimdo.com/
代表:渡辺 孝彦/広報担当:東 尚子